８　文の乱れに注意する［文法］

　文では、使われている語句どうしの関係がきちんとしていなければなりません。例えば、「犬が猫を追う」では、

　　　　　　　　　　　　　　係る

　犬が　　　猫を　　　追う

　　　　　　　　　　　　　　受ける

の関係が認められます。→は「係る（修飾する）」、←は「受ける」関係です。例えば「犬が」は「追う」に係り、「猫を」は「追う」を受けます。そして「係る」と「受ける」の関係を合わせて″係り受け〟の関係と言います。

　文を書くとき、これらの関係に注意することが大切です。例えば、「追う犬が猫を」では、係り受け関係がよくわかりません。また、「猫を追う」では誰が追いかけているのかわかりません。

　こうした文の乱れが生じないように、言葉と言葉の対応に注意しましょう。

文の乱れが起こりやすい場合

①修飾関係が不適切。

　例　試合中止の理由は、雨が降った。

　　　　↓　（「理由は」を受けるものがない）

　　　試合中止の理由は、雨が降ったからだ。

②時制が誤っている。

　例　明日友達の家に漫画を持っていった。

　　　　↓（明日のことが過去形になっている）

　　　明日友達の家に漫画を持っていく。

③副詞の呼応、接続詞と対応する表現が不適切。

　例　まさか食べたと思います。

　　　　↓　（「まさか」に対応する語がない）

　　　まさか食べていないと思います。

④並列表現の形式が整っていない。

　例　飲んだり食べるのが楽しい。

　　　　↓（「～タリ～タリする」の対応がない）

　　　飲んだり食べたりするのが楽しい。

⑤文の接続関係が不適切。

　例　結果がわかったので、知らせてくれ。

　　　　↓　　（論理的につじつまが合わない）

　　　結果がわかったら、知らせてくれ。

レッスン１　次の各文で、係り受け関係に関して、傍線部を解答欄に正しく改めて書きなさい。

⑴　公園内でボール遊びは禁止します。　　　　　 ［　　　　　　　　　　］

⑵　どちらか選ぶのなら、全員で合唱のほうがいい。［　　　　　　　　　　］

⑶　相手チームの攻撃をそなえて、準備が必要だ。 ［　　　　　　　　　　］

⑷　冬の夜空には、多くの星がすごい光っている。 ［　　　　　　　　　　］

⑸　事件の犯人を警察によって逮捕された。　　　 ［　　　　　　　　　　］

レッスン２　次の各文には、係り受け関係に関して、不足しているところがあります。例にならって、補うべきところに ＜ を付け、後の解答欄に不足している言葉を補いなさい。

　例　クラス全員に賛否を問うた結果、賛成者＜は二割であった。

⑴　調査の結果から、自転車通学の人数のほうが、バス通学の人数よりも五人多い。

⑵　遅刻した理由は、いつも乗るバスが故障してしまった。

⑶　わが校の特色として、大勢の卒業生がスポーツの世界で活躍している。

⑷　その飛行機は外国人だけであり、日本人は一人も乗っていなかった。

　例　の割合

　⑴　［　　　　　　　　　　］　⑵　［　　　　　　　　　　］

　⑶　［　　　　　　　　　　］　⑷　［　　　　　　　　　　］

レッスン３　次の各文には、語の対応関係の乱れているところがあります。例にならって、そこに傍線を引き、解答欄に正しく改めて書きなさい。

　例　ぜひ、その歌手のコンサートに行く。　［　　行きたい　　　］

⑴　本を読んだり日記を書くのは、あまり好きではない。　　 ［　　　　　　　　　　］

⑵　たとえ晴れていたら、グラウンドの状態は悪かっただろう。［　　　　　　　　　　］

⑶　どんなに非難されようが、決して私は正しかった。　　　 ［　　　　　　　　　　］

⑷　まるで手品を使って、テーブルの上から手紙が消えた。　 ［　　　　　　　　　　］

⑸　休みの日には、私は本を、妹はＣＤを聴いています。　　 ［　　　　　　　　　　］

レッスン４　次の各文にはつながりのおかしなところがあります。文脈を考えて意味が通じるように、訂正すべきところに傍線を引き、後の解答欄に正しく改めて書きなさい。

⑴　大型の台風で海は大荒れだったが、とても出航できないとの判断で船は欠航した。

⑵　早朝から部活の練習があるので、朝寝坊をしてしまった。

⑶　図書館では、ゆっくりと本を読めるために、静かなスペースが確保されている。

⑷　昨晩はぐっすり眠れたせいで、今日はとても気分がすっきりしている。

　⑴　［　　　　　　　　　　］　⑵　［　　　　　　　　　　］

　⑶　［　　　　　　　　　　］　⑷　［　　　　　　　　　　］

【解答】

レッスン１

　⑴公園内での　⑵合唱する　⑶攻撃に　⑷すごく　⑸犯人は（犯人が）

レッスン２

　⑴〔多い〕ことがわかった〔。〕　　⑵〔しまった〕からだ〔。〕

　⑶〔いる〕ことが挙げられる〔。〕　⑷〔飛行機〕の乗客〔は〕

レッスン３

　⑴書く→書いたりする　　　　　　　⑵晴れていたら→晴れていても

　⑶正しかった→間違っていなかった　⑷使って→使ったように

　⑸本を→本を読み

レッスン４

　⑴大荒れだったが→大荒れだったので

　⑵あるので→あるのに

　⑶読めるために→読めるように（読むために）

　⑷眠れたせいで→眠れたおかげで（眠れたようで）